

地球規模課題対応国際科学技術協力 (SATREPS)について

独立行政法人国際協力機構(JICA)
国際科学技術協力室

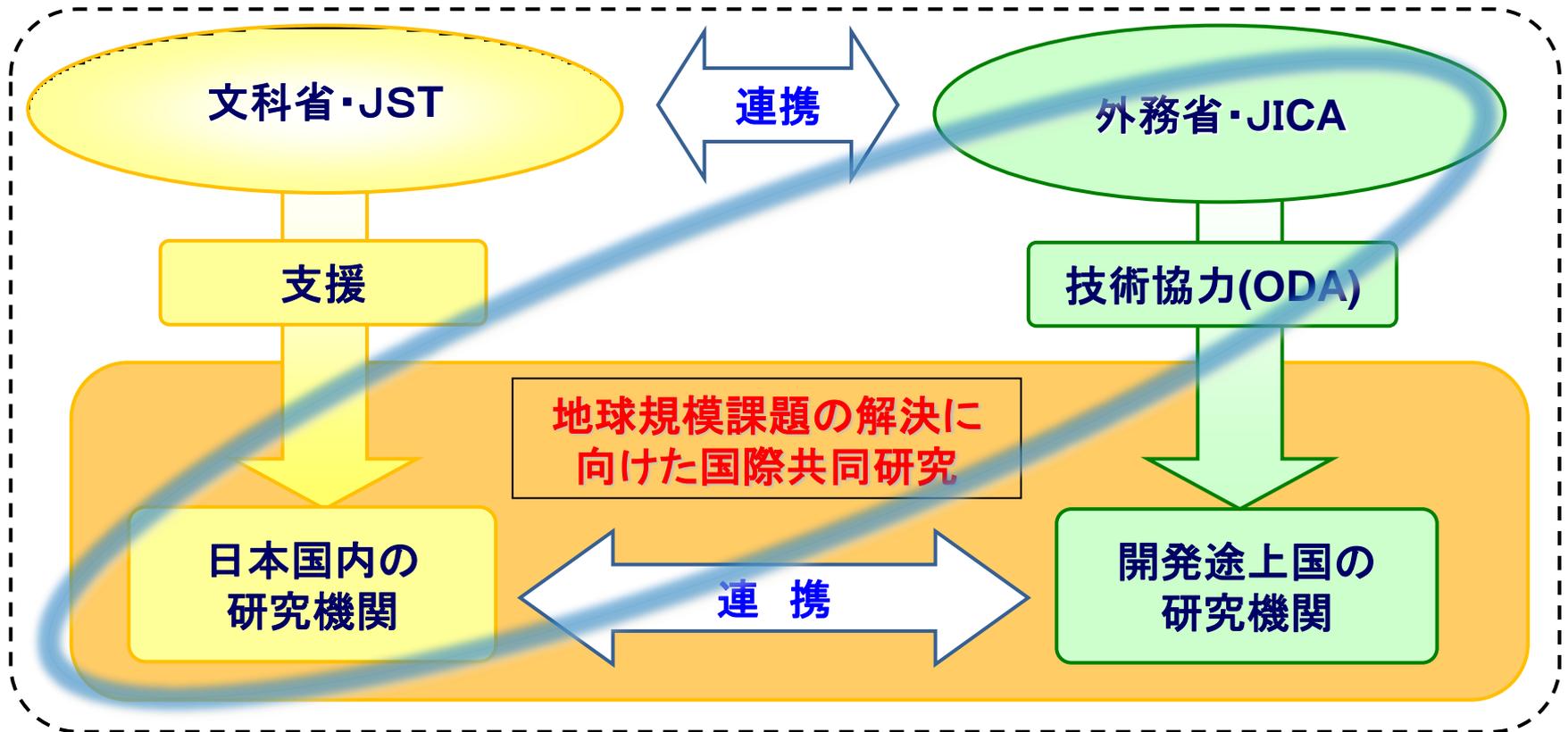
2014.9.29

本日の内容

- SATREPSの枠組み
- 技術協力プロジェクトについて
- 契約・連携関係／取極め、事業契約
- 経費内容／負担区分
- 留意事項
- 参考資料・情報

SATREPSの 枠組み

外務省/JICA と 文部科学省/ JSTが連携して、地球規模の諸課題を対象とする途上国との国際共同研究を推進(ODA事業であるJICA技術協カプロジェクトとして実施)



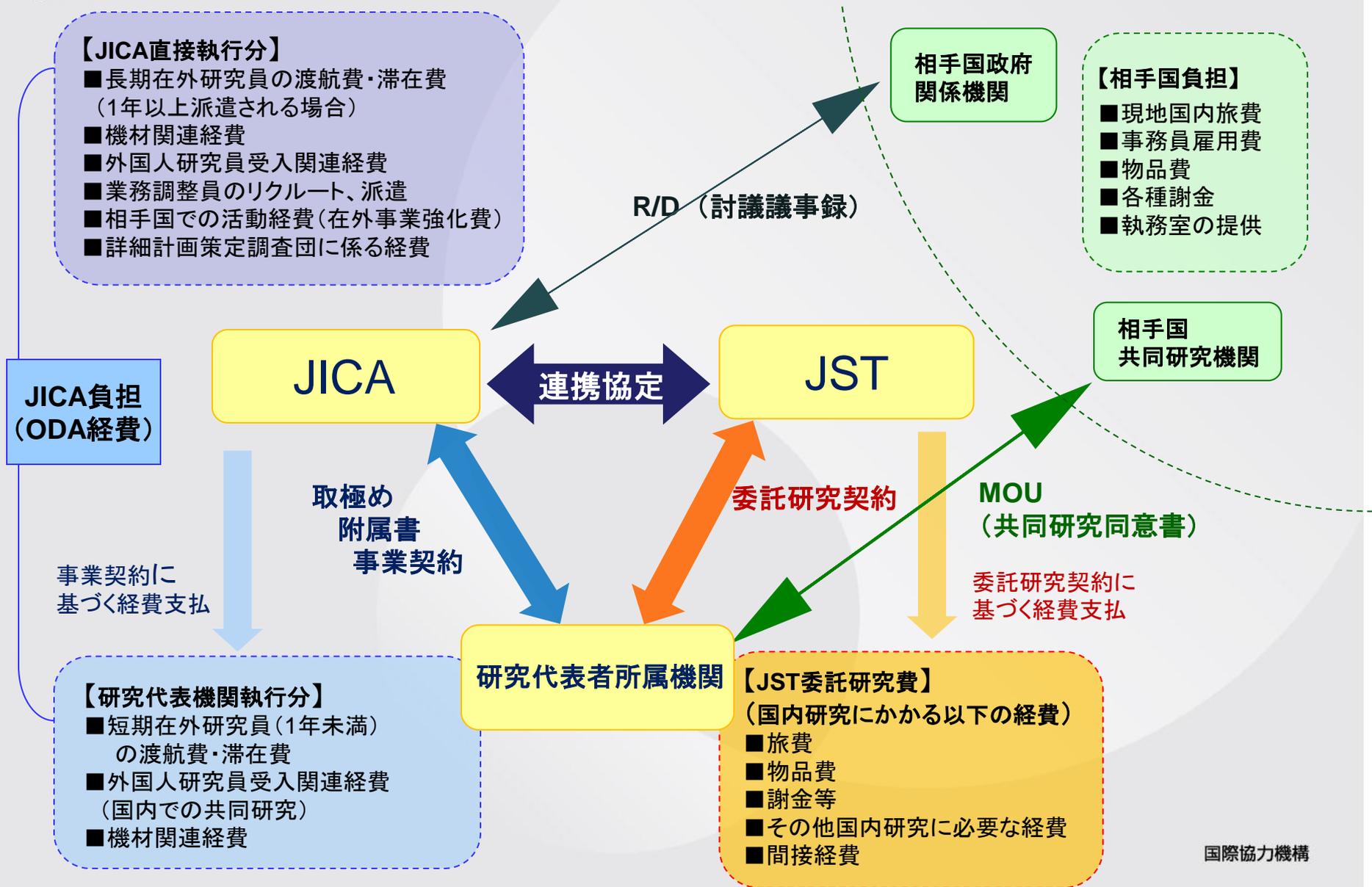
技術協力プロジェクトとは

- JICAの中心的な事業形態の一つ。途上国のニーズに応じたオーダーメイドの協力計画を相手国と共同で作成し、日本と途上国の知識・経験・技術を活かして、一定の期間内でともに問題を解決していく取り組み
- プロジェクト期間内に「専門家派遣」「研修員受入れ」「機材供与」の3つの投入を組合わせて実施
- 相手国は免税、滞在許可等の特恵を付与
- 目標、成果、活動、投入をプロジェクトデザインマトリックス(PDM)として整理し、先方と合意
- 成果とその実現のための活動及び投入の因果関係は明確かつ論理的であることが必要

ODA事業実施における留意点

- ✓ オーナーシップを尊重した協力
協力を必要としている途上国が、JICAの協力活動後も自らの力で「自立」と「発展」を続けていくためには、その国が主体性(オーナーシップ)を発揮することが重要
- ✓ 途上国との共同事業(パートナーシップ)
日本人による一時的な作業効率性より、**持続性、自立発展性を重視**した共同作業を中心に実施。相手国の必要経費は先方負担が原則
- ✓ 現地に適した技術協力
日本の技術とノウハウを現地のニーズ・レベルに適合させた適正技術による協力が重要
- ✓ 制度改革と組織強化(キャパシティ・ディベロップメント)
C/Pへの技術指導・移転だけではなく、技術が組織に定着・発展させるための制度・仕組み造りが重要
- ✓ 大局的な視点からのプロジェクト実施
局所的・専門的活動以外にも、国や社会全体が抱える問題やニーズ把握のための調査とニーズに応える活動が重要

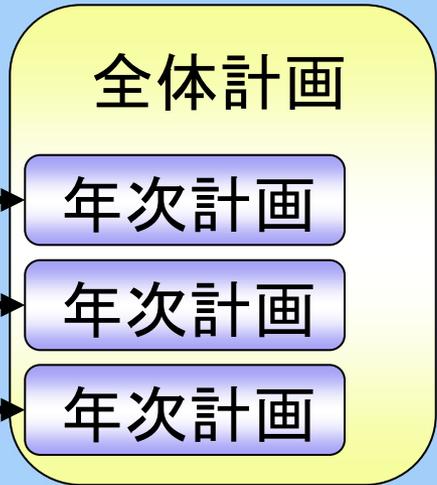
SATREPSの契約・連携関係と経費負担



取極め、附属書、事業契約、 全体計画、年次計画

- 取極めは研究
代表者所属機
関に1つ
- 附属書は案件
毎に1つ
- 事業契約は期
間毎

(取極めの有効 期間
は附属書の有効期間
の最も最後のもの)



対応

取極めの締結

- 研究代表者所属機関とJICAはSATREPSプロジェクトを実施するための基本的事項に関する「取極め」を締結します。
(双方の責務、知的財産権、安全配慮義務、秘密の保持、損害に対する責任等)
- 取極めは研究代表者所属機関毎に一つ締結します。既に取極めを結んでいる研究代表者所属機関では新たな締結は不要。(個別案件ごとに「附属書」を作成します。)

事業契約

- 研究代表者所属機関とJICAは事業契約を締結します。
- 事業契約は複数年度契約も可能です。必ずしも国の会計年度に合わせる必要はありません。
- 本邦における経費の積算・執行は、原則として研究代表者所属機関が当該機関の諸規程により行い、同機関が経費の執行及び経費の額の確定に関する責任を有します。なお、JICAは、研究代表者所属機関の関連規程を確認します。
- 精算は事業契約ごとに行います。証拠書類(原本)の管理・保管は研究代表者所属機関とし、JICAへの精算報告においては、当該書類の原本証明を付した証拠書類の写しを提出していただきます。

JICA事業経費・JST研究経費

- **JICA事業経費：年間6千万円上限**
(期間中総額で1.8億円(3年間)～3.0億円(5年間))
 - * 間接経費の措置はありません。
 - * JICAが直接執行する経費(長期専門家、研究員受入関連等)も含まれます。(ただし、業務調整員、各種調査団の派遣経費を除く)
 - * 予算状況等により変更・調整が必要となる場合があります。
 - * 各案件(課題)のJICA経費の総額は、条件付採択後に実施する詳細計画策定調査以降に、事業内容に基づき、相手国側の自主性も考慮したうえで決定します。
- **JST研究経費：年間3,600万円程度【間接経費を含む】**
(5年計画の場合、総額1.8億円程度)

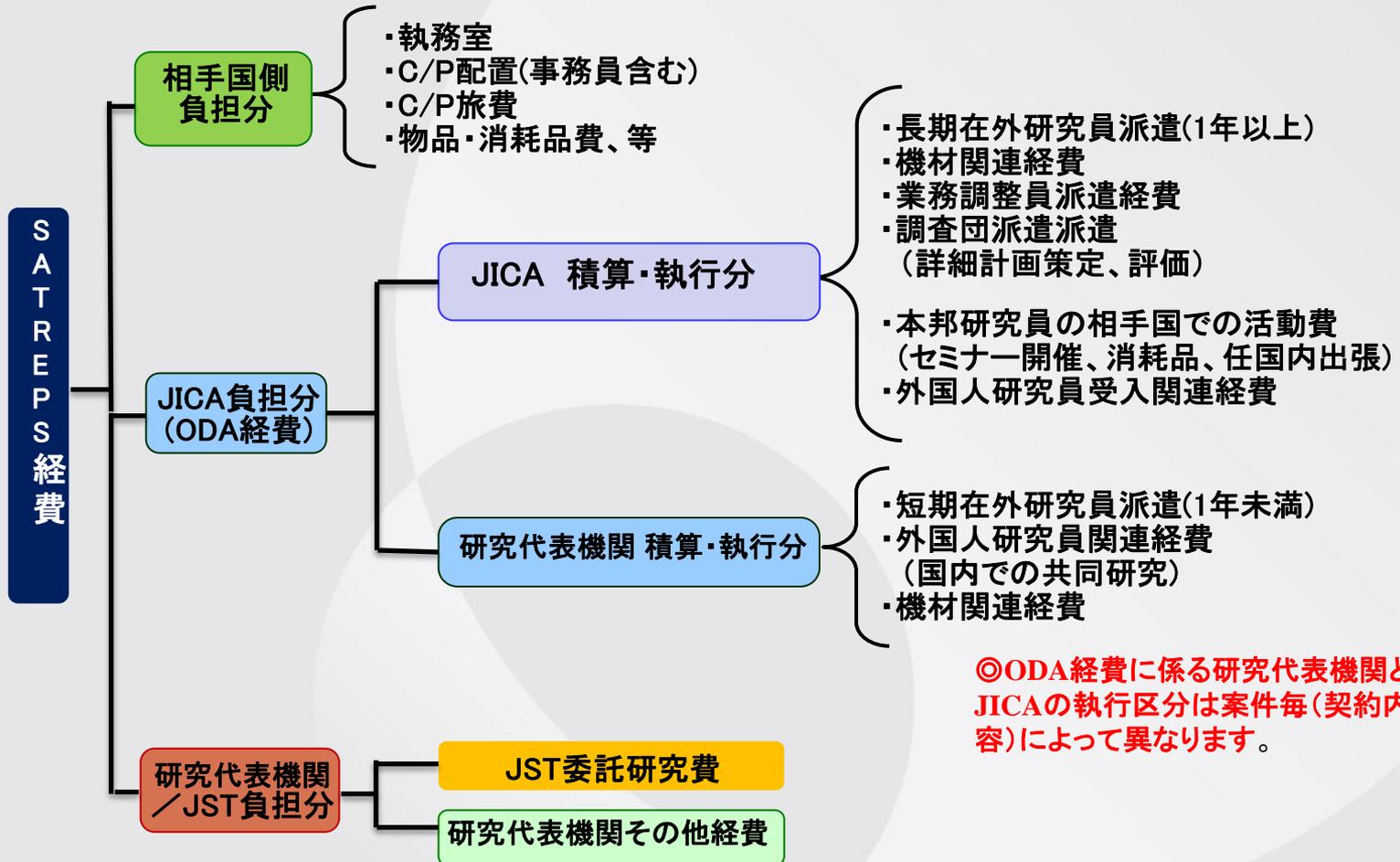
JICAとJSTの経費分担

JICAとJST
からの経費で
執行可能な
経費の分類

経費区分	JST	JICA
日本国内での研究費	●	
相手国以外での研究費 (第三国出張費、現地諸経費等)	●(*1)	
相手国内での研究費	▲(*2)	●(*3)
相手国からの招へい旅費		●
日本と相手国間の旅費		●

- (* 1) 第三国出張とは、原則として相手国を経由しない日本と第三国の間の往復を指します。第三国の研究機関との共同研究は対象外です。
- (* 2) 相手国においてJICAが負担できない研究費のうちJST委託研究費で負担可能なものに限ります。
- (* 3) 相手国内での研究費には、日本側研究員が国際共同研究を現地で実施する上で必要な設備・備品・消耗品費を含みます。(JICAからの経費は相手国の自立発展性を重視するODA技術協カプロジェクトによる支援であるため、相手国側の自助努力が求められます。相手国側の人件費、相手国における事務所借上費、相手国側が使用する消耗品、相手国研究者の相手国内旅費、会議日当等は、原則として相手国側負担となります。)

SATREPS経費の構成



研究代表機関が管理・支出する経費

1. 在外研究員派遣費(短期／1年未満の場合)
 - ・日本から短期派遣される研究者の航空賃、旅費
2. 外国人研究員受入費
 - ・「国立大学等の授業料その他の費用に関する省令」を準用し計算した額、研究代表機関及び共同研究機関以外の者による技術移転教育経費
 - ・航空賃、旅費などの受入関連経費(受入手続きを研究代表機関が行う場合)
3. 機材費:相手国に供与される機材関連経費
4. 業務諸費:事務経費等(上限額あり)

◎詳細は、事業契約内容によって異なります。

相手国負担の原則

- ・ ODA事業では、**相手国側の自助努力や案件終了後の持続性を重視**し、原則相手国側負担としている経費があります。相手国側も含む全ての経費をJICAが支援するのではないことを、予め相手国側関係者に理解しておいてもらうことが重要です。

〈例〉

- 1) 相手国研究機関研究者及び関係者、当該研究機関が直接雇用している人員にかかる経費
 - 2) 共同研究の活動拠点となるプロジェクト事務所に要する経費
 - 3) 相手国側研究機関研究者及び関係者による通常業務や研究上必要な相手国内出張にかかる交通費・旅費(日当・宿泊費)
 - 4) 日本側研究者が関与しない、相手国側研究機関のみで実施される研究活動に使用される備品、消耗品及び設備費等
- *なお、研究に必要な設備・資機材についても、相手国側による負担や既存の設備・資機材の活用を求め、真に必要な支援に絞り込みます。

応募にあたっての 留意事項

留意事項 (1)

- **相手国研究機関との十分な内容のすり合わせ**
同床異夢にならないように
- **相手国に対する資金供与ではない点に留意**
人造り・組織造り、自助努力支援(先方負担あり)
- **相手国研究機関の状況をよく確認**
人材はいるか、予算はあるか、権限はあるか
- **相手国内における手続き内容・期間の確認**
手続き・所要日数等について関係機関への確認が重要
(提案と要請のマッチング率:約80%)
- **社会実装の構想・具体化の道筋を明確に**
研究成果の社会還元はODA事業として極めて重要

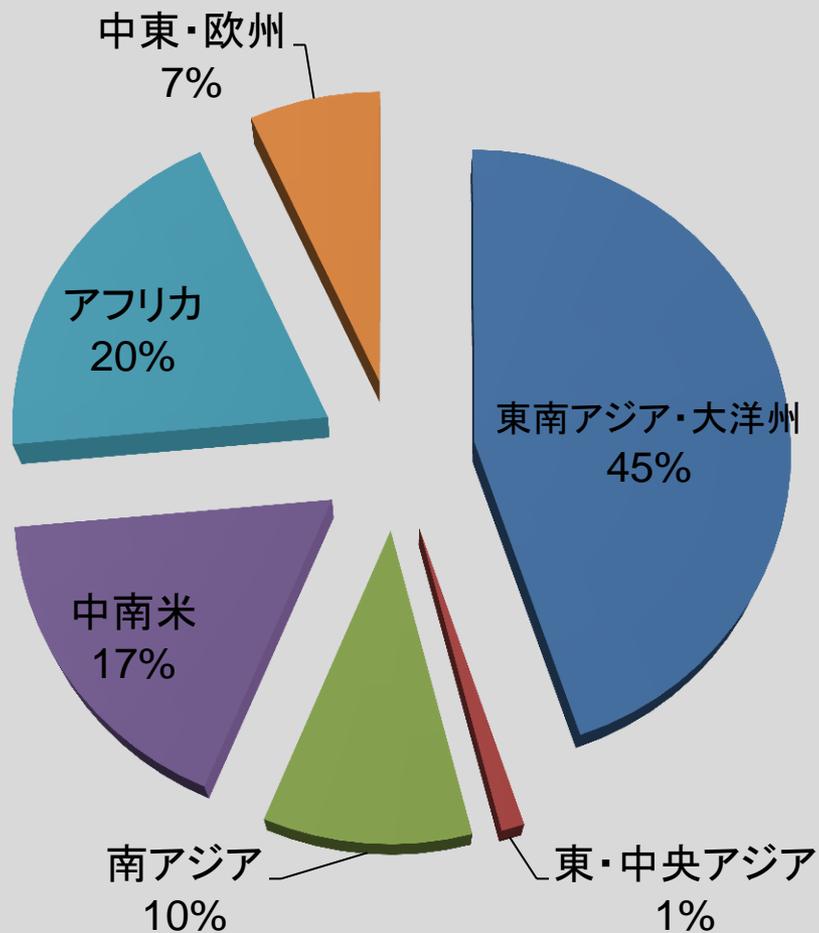
留意事項 (2)

- **本邦研究機関にも様々な負担あり**
事務・支援部門との十分な調整が必要
- **調達から終了後までを考慮した供与機材計画**
 - 本邦調達：研究代表機関が調達（購入～輸送まで）
 - 現地調達：特殊な機材のJICA調達は困難
- * **プロジェクト終了後の相手側維持管理能力（コスト、体制）の確認**
- **JICA予算措置上の制約（人件費、間接費なし）**
日本側研究者（特に民間企業）の人件費補てんがないことに留意
- **ODAの視点に留意した提案内容の検討**
公募要領 ODA関連部分（IV及び様式10等） 参照
- **現地訪問の際には、大使館やJICA事務所への案件内容説明等の情報共有をお願いします。**

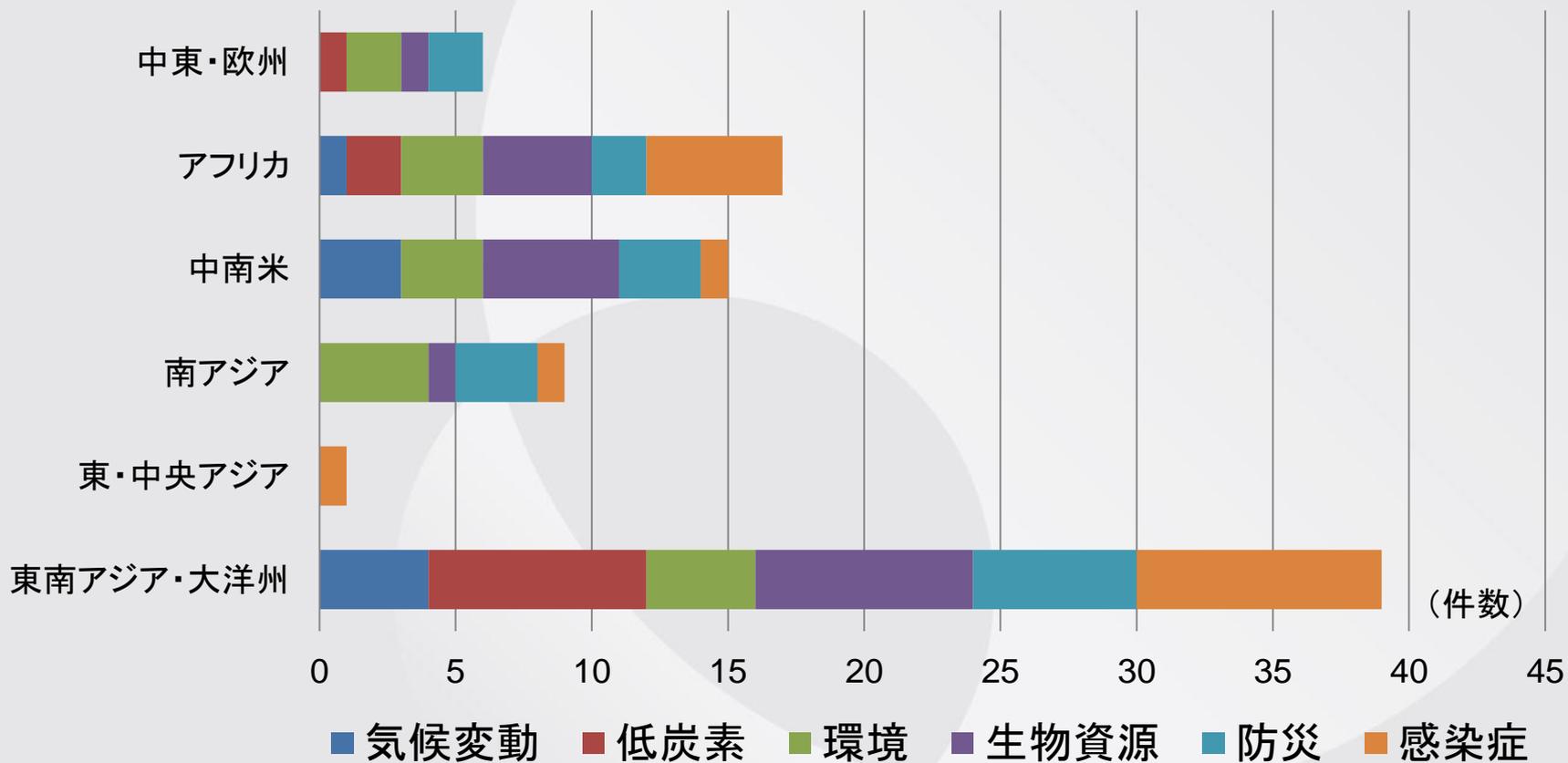
参考：年度別採択案件数(分野・領域別)

年度／分野	環境・エネルギー			生物資源	防災	感染症	合計
	気候変動	低炭素	環境				
H20	4		3		3	2	12
H21	4		2	6	4	4	20
H22		4	4	5	2	2	17
H23		3	1	2	2	2	10
H24		1	2	3	1	1	8
H25		1	3	1	2	3	10
H26		2	1	2	2	3	10
合計	8	11	16	19	16	17	87

参考：採択案件（87件）の地域別割合



参考：地域別 分野・領域内訳



参考資料(手引き・ガイドライン等)

JICAホームページ上で、事業概要やFAQのほか、プロジェクト実施の手引き、事業契約ガイドライン、取極め・附属書・事業契約書様式等を公開しています。

応募の前にご一読をお願いいたします。

<http://www.jica.go.jp/activities/schemes/science/index.html>

その他お問い合わせは eigst@jica.go.jp まで

ありがとうございました。